

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 開かれた学校づくりを目指し、地域・保護者とともに共同できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 地域の教育力をいかした特色ある教育活動の実践事例

① 地域における体験的な学習活動

1年生では「昔遊び」で、地域の長寿会の方々をゲストティーチャーに迎え、けん玉・駒・坊主めくり・あやとりなどを教わりました。2年生は「地域たんけん」でゲストティーチャーから山之一色地区の寺社を案内してもらったり、獅子舞の話を聞いたりしました。3年生は、「タケノコ掘り」・「シイタケ菌打ち体験」・「昔のくらし」で山之一色の自然・農業について触れました。4年生は、山之一色の瓦産業と自然の関わりについてゲストティーチャーから話を聞いたあと、実際にランプシェードを作り、素焼きしていただいたものに色と釉薬をつけ、本焼きをしていただきました。防災教室では、四日市大学の鬼頭教授から防災について学び、社協の協力のもと避難所を想定した「子どもにもできる訓練」を指導していただきました。5年生は社会科の農業学習とリンクさせて田植え・稲刈り・しめ縄作りを地域の田んぼをお借りして体験させていただきました。6年生の平和学習では、地域の方と山之一色地区にある慰霊碑やお墓に書かれた文字を調べることで、当時の太平洋戦争のすさまじさや逃げられない戦争一色の暮らしを知ることができました。さらに、その当時12才だった方をゲストティーチャーに迎え、山之一色の防空壕での悲惨な出来事について生の声を聞きました。



【1年生 昔遊び】



【2年生 地域探検遊び】



【3年生 昔のくらし】



【4年生 ランプシェード作り】



【5年生 しめ縄作り】



【6年生 平和学習】

②学習支援員による学習支援

低学年の音楽、中・高学年の毛筆（書写）、外国語の専門的な知識や技能をもった地域の方に学習支援員として授業の支援をしていただきました。例えば外国語では、英語が話せる学習支援員が毎時間いることで、英語の発音に自然に慣れるだけでなく、実践的なコミュニケーション場面を想定した学習をしたり、外国の文化に触れさせたりすることができました。地域住民や保護者に呼びかけ、さまざまな専門性をもった方を学習支援員として依頼しました。



【読み聞かせ学習支援員】



【書写学習支援員】



【英語学習支援員】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

①子どもたちの学びに対する指導・支援の充実

保護者や地域の教育力をいかした教育活動を推進していくために地域協力員の方に定期的に学習支援をしていただきました。地域住民、保護者による学習支援員の活躍により子どもたち一人ひとりにきめ細やかな指導や支援を行うことができました。また、各々の教員がゲストティーチャーと協働し、その知識や専門性をいかした質の高い授業実践を推進することができました。

② 地域コミュニティの核としての学校づくり

運営協議会委員長が学習コーディネーター役となり、各学年の教育活動に合わせて地域資源や地域の人材の活用をご支援いただいています。地域における体験的な学習を通して子どもたちは地域のことを知り、地域の方々と触れ合うことができました。また、これらの地域学習が持続的で系統的な学習となるよう、全学年の地域学習を整理し、運営協議会委員の皆様にも協力をいただき、「三重北の地域学習」としてまとめ、来年度に活かす準備を進めています。

3 今後に向けて

運営協議会委員の皆様、保護者・地域の方々の学校教育活動への支援は、確かな学力の定着とともに心の教育にもつながっています。小規模校での教職員の仕事は多岐にわたります。コミュニティスクールは授業づくり、学校行事、環境整備等地域の力

の活用を図るつなぎ役にもなっていただいています。また、学校では、学校づくりビジョンの実現に向けた取組を振り返り、成果と課題を明らかにしましたが、運営協議会委員には、子どもたちの様子や教師の指導など学校の現状を把握してもらった上で評価およびご助言・ご提案をいただきました。

今後も地域・保護者との連携した取組の意義を学校と地域が共有し、地域教材を活かした学習や体験活動等を年間計画に位置付けて推進していきます。そして、コミュニティスクールの実践を振り返り、次年度の学校づくりビジョン推進の取組の中でよりよく活かし、地域とともに協働する学校づくりを推進していきます。

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立三重北小学校

委員長 樋口 和美

校長 宮田 毅

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	10日（水）10:30～12:30 第1回運営協議会	① コミュニティスクールについて ② 学校づくりビジョンの説明および承認 ③ 活動方針および年間活動計画 ④ 学校の様子の報告 ⑤ 学校運営に対する意見交流
6		
7		
8		
9	14日（木）9:25～12:00 第2回運営協議会	① 授業参観 ② 学校の様子の報告 ③ 子どもの生活リズム向上事業の取り組みについて ④ 学校運営に対する意見交流
10	31日（火）9:25～12:00 第3回運営協議会	① 授業参観・校内図工作品展参観 ② 全国学力・学習状況調査の結果について ③ 学校の様子の報告 ④ 学校運営に対する意見交流
11		
12		
1	17日（水）9:25～12:00 第4回運営協議会	① 授業参観・校内書写展参観 ② 学校の様子の報告 ③ 学校自己評価について ④ 学校関係者評価について ⑤ 学校運営に対する意見交流
2	15日（木）13:20～15:30 第5回運営協議会	① 学校保健委員会について ② 学校関係者評価について協議 ③ 学校の様子の報告 ④ 学校運営に対する意見交流
3		